

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

| | |
|-------|----------------------|
| 制作団体名 | 公益財団法人関西フィルハーモニー管弦楽団 |
| 公演団体名 | 関西フィルハーモニー管弦楽団 |

| 内容 |
|---|
| <p>【ミニコンサート型ワークショップ】 本公演前に弦楽器の生演奏を聴き、音楽に対する理解を深めます。 また、楽器の作りを学び、オーケストラに対する理解を深めます。 <u>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、50分程度の短縮版プログラムを用意し、「午前中は1～3年生、午後45分は4～6年生」など、要望に応じてWSを実施します。</u></p> <p>【演奏指導、楽器クリニックの実施】 本公演で吹奏楽部等の音楽系クラブと共演する場合は、ミニコンサートの後に該当児童・生徒を対象とし、演奏指導を行います。 <u>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、</u> ・管楽器から出る水分は、使い捨ての吸水シート等で処理 ・弦楽器・打楽器奏者はマスクの着用等、可能な限り対策を講じます。</p> |

| タイムスケジュール（標準） | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-------------------------|-------------|----------------|-------|----|-------------------------|-------------|----------------|----|-------|-------------|-------------|-------------|-------|
| <p>●短縮版実施例</p> <p>※小学校において、午前中に1～3年生、午後に4～6年生を対象に行うと仮定する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>リハーサル及び先生との 本公演打ち合わせ</th> <th>WS 1～3年生</th> <th>WS 4～6年生</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9:00</td> <td>9:30～10:00</td> <td>10:45～11:30</td> <td>11:35～12:20</td> <td>13:30</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | 到着 | リハーサル及び先生との 本公演打ち合わせ | WS 1～3年生 | WS 4～6年生 | 退出 | 9:00 | 9:30～10:00 | 10:45～11:30 | 11:35～12:20 | 13:30 |
| 到着 | リハーサル及び先生との 本公演打ち合わせ | WS 1～3年生 | WS 4～6年生 | 退出 | | | | | | | | | | |
| 9:00 | 9:30～10:00 | 10:45～11:30 | 11:35～12:20 | 13:30 | | | | | | | | | | |
| <p>●5時間目・放課後での実施例</p> <p>※小学校において、全学年対象に5時間目にワークショップを行い、放課後に音楽系クラブを対象に実技指導を行う仮定する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>リハーサル及び先生との 本公演打ち合わせ</th> <th>WS 全学年</th> <th>音楽系クラブ 実技指導</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13:00</td> <td>13:30～14:00</td> <td>14:15～15:15</td> <td>放課後～17:00頃</td> <td>17:30</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記はあくまで例となります。 児童・生徒・先生方のご都合や、地理的・時間的な都合など総合的に判断した上で、ご提案・ご相談させていただきます。</p> | | | | | 到着 | リハーサル及び先生との 本公演打ち合わせ | WS 全学年 | 音楽系クラブ 実技指導 | 退出 | 13:00 | 13:30～14:00 | 14:15～15:15 | 放課後～17:00頃 | 17:30 |
| 到着 | リハーサル及び先生との 本公演打ち合わせ | WS 全学年 | 音楽系クラブ 実技指導 | 退出 | | | | | | | | | | |
| 13:00 | 13:30～14:00 | 14:15～15:15 | 放課後～17:00頃 | 17:30 | | | | | | | | | | |

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

【ミニコンサート型ワークショップ】

3名（ヴァイオリン・ピアノ・事業担当者）

【演奏指導、楽器クリニックの実施】

6名（木管奏者2名・金管奏者2名・打楽器奏者1名・事業担当者）

学校における事前指導

ワークショップでは、本公演で実際に聴く事が出来る様々なオーケストラの楽器について学習します。

今回は弦楽器を事前に映像資料等で学習していただくと、WSがより効果的な物となります。また本公演と一緒に共演をしていただく「校歌」におきましては、「綺麗な声・大きな声で歌う」だけでなく、歌詞の意味についても掘り下げていただき学習をしていただくと、より意義のあるものとなります。

十分な換気やマスク着用を徹底し、事前の練習をお願いいたします。

上記を先生方をお願いしております。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書【コロナ対策版】

| | |
|-------|----------------------|
| 制作団体名 | 公益財団法人関西フィルハーモニー管弦楽団 |
| 公演団体名 | 関西フィルハーモニー管弦楽団 |

| |
|---|
| 演目 |
| Enjoy Discovering the Orchestra! 「楽しみながらオーケストラの魅力を発見しよう」 コロナ対策用・60分短縮プログラム |
| 1. ビゼー：歌劇「カルメン」より“前奏曲” 2. モーツァルト：「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より“第1楽章” 3. チャイコフスキー：バレエ音楽「白鳥の湖」より『4羽の白鳥の踊り』 4. ジョン・ウィリアムズ：映画「スターウォーズ」より“ダース・ベイダーのテーマ” 5. チャイコフスキー：バレエ音楽「くるみ割り人形」より“花のワルツ” 6. ～リズムを叩いてオーケストラと共演しよう！～ モーツァルト：トルコ行進曲（ピアノソナタ第11番より第3楽章） 7. スメタナ：交響詩「我が祖国」より『モルダウ（ヴルタヴァ）』 =====最後はみんなと一緒に演奏しよう！===== |
| 8. 共演曲（自由曲） 9. 共演曲（校歌） |

| | |
|---|---|
| 派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください | |
| ◆ <u>出演者</u> :63名 指揮者:1名 司会者:1名 演奏者:61名(10型2管) | ◆ <u>スタッフ</u> :7名 楽団代表者:1名 公演担当者:1名 ステージマネージャー:1名 編曲者:1名 搬出入アルバイトスタッフ:3名 |
| 合計:70名 | |

| | | | | | |
|--|------------|-------------|-------------|-------------|-------|
| タイムスケジュール（標準） | | | | | |
| 前日仕込み（有・ <u>無</u> ） 会場設営の所要時間(1.5～2時間程度) | | | | | |
| 到着 | 仕込み | リハーサル | 本公演 | 撤去 | 退出 |
| 9:00 | 9:00～10:30 | 11:30～12:00 | 13:30～14:30 | 14:45～16:30 | 16:30 |

※本公演時間の目安は、午後1時から、1時間程度です。
※会場条件によって仕込み・撤去時間が増減する場合があります。
※公演終了後、機材搬出が完全に終わるまでは安全確保のため、部活動等体育館の使用を制限させていただきます。

公演当日朝は、担当の先生と公演の最終打ち合わせをします。
音楽系クラブ等との共演がある場合は、公演当日のリハーサルで合わせ、最終確認します。
リハーサル時間の設定は、なるべく2校時に渡らないように担当の先生と調整します。
また、校歌指揮の先生（もしくは生徒）もリハーサルに参加必要です。

実施校への協力依頼人員

●前日までの会場準備

前日に体育館の会場準備をお願いいたします。（パイプ椅子・フロアシートなど）

●搬入・搬出時の安全管理

搬入・搬出時は大型楽器を専門スタッフが運ぶため、危険が伴います。
よって、児童・生徒が搬入出導線やトラックの付近を通る際は、必ず先生が付いていただくようお願いいたします。

●控室のご準備

演奏者が使用させていただく部屋をご準備をお願いいたします。（食事や着替えに使用する机や

演目解説

●胸躍るオーケストラサウンドで演奏会の幕開け♪

・ビゼー：歌劇「カルメン」より“前奏曲”

華やかかつ堂々たる演奏で演奏会が幕開けます。冒頭にインパクトを与えることでオーケストラに対する興味を惹きつけ、これから始まる演奏会への期待を高めます。

●楽器紹介コーナー

それぞれの楽器群が最も効果的に使われる曲を演奏します。単なる楽器の名前や特徴の紹介に留まらず、各楽器群がオーケストラの中で、どのようにその個性を発揮しているかを、個々の楽器を紹介した後、実際の曲の演奏の中でお伝えします。

・モーツァルト：「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より“第1楽章”

最も有名な弦楽合奏曲のひとつであるモーツァルトの傑作です。

・チャイコフスキー：バレエ音楽「白鳥の湖」より“4羽の白鳥の踊り”

木管楽器が活躍する、とてもチャーミングな曲です。

・ジョン・ウィリアムズ：映画「スターウォーズ」より“ダース・ベイダーのテーマ”
世代を超えて大人気の映画から、金管楽器・打楽器が活躍する大迫力の曲をお届けします。

・チャイコフスキー：バレエ音楽「くるみ割り人形」より“花のワルツ”
ハープの紹介をいたします。前半を締めくくるとにふさわしい華やかな、そして瞬時におとぎの国に連れて行ってくれそうな夢のある曲です。

●一体感のある、生徒全員が満足できる公演

リズム体験コーナー「トルコ行進曲（ピアノソナタ第11番より第3楽章）」は、演奏者2名が先導し、鑑賞の生徒全員に手拍子で演奏に参加していただきます。リズム打ちを通してオーケストラとの一体感を体感することで、よりオーケストラを身近に感じることができます。

また、事前にボディパーカッションの楽譜を送付し、音楽の授業等を活用して予習をしていただくと、さらに楽しい共演になるでしょう。

●教科書にも載っている名曲で、オーケストラの魅力を存分に！

・スメタナ：連作交響詩「我が祖国」より『モルダウ（ヴルタヴァ）』

音楽の教科書で題材に取り上げられたり、合唱曲にも編曲されている大変有名な楽曲です。曲調の変化から、音楽によって表現される心情や情景描写を想像することができ、力強い響きや美しい旋律、繊細な表現など音楽の幅広さを感じとることができます。音楽を多角的に体験するには最適な作品といえます。

●オリジナルの編曲でオーケストラとの共演♪

～忘れられない音楽体験の実現～

吹奏楽部や金管バンドだけでなく、合唱部、ダンス部、弦楽部、邦楽部、軽音楽部 etc…音楽系クラブであればどんなクラブでも、オリジナル編曲によってオーケストラとの共演が可能です。本公演当日にはリハーサル時間を十分に設ける事で、単なる練習だけではなくオーケストラ楽員とのコミュニケーションを図っています。また、プログラム最後のオーケストラオリジナル伴奏による校歌全校合唱では、先生や生徒に指揮をして頂く事で、客席との一体感をより高め、忘れられない公演を実現しています。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

【児童・生徒の共演、参加又は体験の形態】

●ボディパーカッションでの演奏参加

「トルコ行進曲（ピアノソナタ第11番より第3楽章）」では、オーケストラと生徒がひとつになって音楽を創るという体験が出来るよう、『全員が手拍子で参加できるコーナー』を設けています。参加型のリズム体験コーナーは、ひとつの公演の進行の中で児童・生徒の気分転換となり、その後の演目において集中力を持続させることに効果的です。またオーケストラと一緒に演奏する楽しさ、皆で時間を共有する感動は、音楽を好きになるひとつのきっかけになるでしょう。

●吹奏楽部・合唱部、他の音楽系クラブなどとの共演を、学校側の要望に沿って実施共演曲目は先生方と相談の上決定します。

【最近の主な演奏実績】

- ♪音楽部〔箏〕との共演（荒井由実「やさしさに包まれたなら」）＜2014年＞
- ♪管弦楽部との共演（モーツァルト：歌劇「後宮からの逃走」序曲）＜2015年＞
- ♪トーンチャイムとの共演（岡野貞一：ふるさと）＜2016年＞
- ♪和太鼓部との共演（オーケストラとの共演のために「作曲」）＜2017年＞
- ♪リコーダーとの共演（葉加瀬太郎：情熱大陸のテーマ）＜2018年＞
- ♪音楽部との共演・及びオリジナルの歌詞作成（エルガー：威風堂々）＜2018年＞

●お気に入りの歌を、オーケストラ伴奏にのって生徒全員で合唱。
吹奏楽部・合唱部がない場合でも、生徒全員での合唱で共演可能。クラシックの合唱曲はもちろん、ジャンルを問わず希望曲をオーケストラ用に編曲します。

【最近の主な演奏実績】

- ♪AKB48：365日の紙飛行機（全校合唱）＜2018年＞
- ♪米津玄師：パプリカ（全校合唱、全校ダンス）＜2019年＞
- ♪赤尾 暁：音楽のおくりもの（全校合唱）＜2020年＞

●オーケストラの伴奏で、校歌を歌おう。
校歌を、要望に応じた形でオーケストラに編曲、先生または生徒の指揮で校歌を演奏。演奏会の最後は、先生・生徒の指揮のもと、関西フィルと共に校歌を声高らかに歌って、感動的なフィナーレを迎えます。

※コロナウイルス感染症拡大の状況が収束した場合、指揮者体験プログラムもご用意できます。
ご希望の場合はご相談ください。

児童生徒とのふれあい

演奏時以外も各々が積極的に「おはよう！」「こんにちは！」など、声かけを欠かさず行っております。

音楽系クラブと共演がある場合は、昼休みなどの空き時間に実技指導を行います。
限られた時間でなるべく充実した指導を行うためにも、ワークショップで個人個人に合わせて課題を与えます。